

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q001

○ x

貸借対照表

次の記述は正しいか。  
貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。  
**選択肢**  
○  
x

答え・解説

正答：○  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q002

○ x

貸借対照表

次の記述は正しいか。  
貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。  
**選択肢**  
○  
x

答え・解説

正答：x  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q003

2択

貸借対照表

次のうち、正しい記述はどちらか。  
**選択肢**  
1. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。  
2. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。

答え・解説

正答：貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q004

4択

貸借対照表

次のうち、最も適切なものはどれか。  
**選択肢**  
A. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。  
B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。  
C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。  
D. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。

答え・解説

正答：D. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q005

4択

貸借対照表

次のうち、不適切なものはどれか。  
**選択肢**  
A. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。  
B. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。  
C. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。  
D. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。

答え・解説

正答：D. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q006

○ x

貸借対照表

基礎確認：次の説明は適切か。  
貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：○  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q007

○ x

貸借対照表

基礎確認：次の説明は適切か。  
貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：x  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q008

2択

貸借対照表

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

- 1. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。
- 2. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。

答え・解説

正答：貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q009

4択

貸借対照表

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- B. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- C. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。
- D. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。

答え・解説

正答：C. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

Q010

4択

貸借対照表

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。
- B. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
- C. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- D. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。

答え・解説

正答：A. 貸借対照表は、一定期間の理事会出席者の感想だけを示す書類である。  
解説：貸借対照表は、期末など一定時点の財政状態を把握するための書類である。  
要点：会計・財務諸表

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q011

○ ×

収支計算書

次の記述は正しいか。  
収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。

要点：会計・収支計算

Q012

○ ×

収支計算書

次の記述は正しいか。  
収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。

要点：会計・収支計算

Q013

2 択

収支計算書

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
2. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

答え・解説

正答：収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。

要点：会計・収支計算

Q014

4 択

収支計算書

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- C. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。
- D. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

答え・解説

正答：D. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。

要点：会計・収支計算

Q015

4 択

収支計算書

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- B. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。
- C. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- D. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

答え・解説

正答：B. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。

要点：会計・収支計算

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q016

○ ×

収支計算書

基礎確認：次の説明は適切か。  
収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。  
要点：会計・収支計算

Q017

○ ×

収支計算書

基礎確認：次の説明は適切か。  
収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。  
要点：会計・収支計算

Q018

2択

収支計算書

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。
2. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

答え・解説

正答：収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。  
要点：会計・収支計算

Q019

4択

収支計算書

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
- B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- C. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- D. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。

答え・解説

正答：A. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。  
要点：会計・収支計算

Q020

4択

収支計算書

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。
- B. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。
- C. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。
- D. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

答え・解説

正答：B. 収支計算書は、建物の外壁タイルの色だけを示す書類である。

解説：収支計算書では、管理費収入、修繕積立金収入、委託費、清掃費などの収支を確認する。  
要点：会計・収支計算

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q021

○ ×

預金

次の記述は正しいか。  
管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○  
解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。  
要点：会計・資産

Q022

○ ×

預金

次の記述は正しいか。  
管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×  
解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。  
要点：会計・資産

Q023

2択

預金

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。  
2. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

答え・解説

正答：管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。  
解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。  
要点：会計・資産

Q024

4択

預金

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。  
B. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。  
C. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。  
D. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

答え・解説

正答：D. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。  
解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。  
要点：会計・資産

Q025

4択

預金

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。  
B. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。  
C. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。  
D. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

答え・解説

正答：A. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。  
解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。  
要点：会計・資産

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q026

○ ×

預金

基礎確認：次の説明は適切か。  
管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。

要点：会計・資産

Q027

○ ×

預金

基礎確認：次の説明は適切か。  
管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。

要点：会計・資産

Q028

2択

預金

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。
2. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

答え・解説

正答：管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。

要点：会計・資産

Q029

4択

預金

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- D. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

答え・解説

正答：D. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。

要点：会計・資産

Q030

4択

預金

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。
- B. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- C. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
- D. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

答え・解説

正答：D. 管理組合名義の預金は、常に管理会社の固有財産として扱われる。

解説：預金は代表的な資産であり、通帳・残高証明・帳簿の照合が重要である。

要点：会計・資産

Q031

○ ×

未収金

次の記述は正しいか。  
期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：○  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q032

○ ×

未収金

次の記述は正しいか。  
未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：×

解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q033

2択

未収金

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
2. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

答え・解説

正答：期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q034

4択

未収金

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
- B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- C. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。
- D. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。

答え・解説

正答：A. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q035

4択

未収金

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。
- B. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。
- C. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。
- D. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

答え・解説

正答：D. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q036

○ x

未収金

基礎確認：次の説明は適切か。  
期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：○  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q037

○ x

未収金

基礎確認：次の説明は適切か。  
未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：x  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q038

2択

未収金

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
2. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

答え・解説

正答：未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q039

4択

未収金

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- B. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- D. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。

答え・解説

正答：D. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

Q040

4択

未収金

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。
- B. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。
- C. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。
- D. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。

答え・解説

正答：D. 未収管理費は、徴収できていなくても必ず現金として処理する。  
解説：滞納管理費等は未収金として把握し、督促・回収状況と合わせて管理する。  
要点：会計・未収金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q041

○ ×

前受金

次の記述は正しいか。  
翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。

要点：会計・前受金

Q042

○ ×

前受金

次の記述は正しいか。  
翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。

要点：会計・前受金

Q043

2択

前受金

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。
2. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。

答え・解説

正答：翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。

要点：会計・前受金

Q044

4択

前受金

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。
- B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- C. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。
- D. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。

答え・解説

正答：C. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。

要点：会計・前受金

Q045

4択

前受金

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。
- B. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- C. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。
- D. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

答え・解説

正答：A. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。

解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。

要点：会計・前受金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q046

○ x

前受金

基礎確認：次の説明は適切か。  
翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：○  
解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。  
要点：会計・前受金

Q047

○ x

前受金

基礎確認：次の説明は適切か。  
翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：x  
解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。  
要点：会計・前受金

Q048

2択

前受金

次のうち、誤っている記述はどちらか。  
選択肢  
1. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。  
2. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

答え・解説

正答：翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。  
解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。  
要点：会計・前受金

Q049

4択

前受金

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。  
選択肢  
A. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。  
B. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。  
C. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。  
D. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

答え・解説

正答：D. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。  
解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。  
要点：会計・前受金

Q050

4択

前受金

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。  
選択肢  
A. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。  
B. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。  
C. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。  
D. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。

答え・解説

正答：D. 翌期分を先に受け取っても、会計上は必ず未収金として処理する。  
解説：受け取った時期と対応する期間がずれる場合、前受金処理が必要となる。  
要点：会計・前受金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q051

○ x

未払金

次の記述は正しいか。  
修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：○

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q052

○ x

未払金

次の記述は正しいか。  
まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：x

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q053

2択

未払金

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

- まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。
- 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

答え・解説

正答：修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q054

4択

未払金

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

答え・解説

正答：C. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q055

4択

未払金

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。
- 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
- 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
- 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。

答え・解説

正答：A. まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q056

○ ×

未払金

基礎確認：次の説明は適切か。  
修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q057

○ ×

未払金

基礎確認：次の説明は適切か。  
まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q058

2択

未払金

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
2. まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

答え・解説

正答：まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q059

4択

未払金

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- B. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- D. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。

答え・解説

正答：B. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

Q060

4択

未払金

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
- B. まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。
- C. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。
- D. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

答え・解説

正答：B. まだ支払っていない修繕工事代金は、必ず現金支出済みとして処理する。

解説：未払金は負債にあたり、支払義務の把握に重要である。

要点：会計・未払金

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q061

○ ×

借方・貸方

次の記述は正しいか。  
複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q062

○ ×

借方・貸方

次の記述は正しいか。  
複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q063

2択

借方・貸方

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。  
2. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。

答え・解説

正答：複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q064

4択

借方・貸方

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。  
B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。  
C. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。  
D. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。

答え・解説

正答：A. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q065

4択

借方・貸方

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。  
B. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。  
C. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。  
D. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。

答え・解説

正答：D. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q066

○ ×

借方・貸方

基礎確認：次の説明は適切か。  
複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：○  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q067

○ ×

借方・貸方

基礎確認：次の説明は適切か。  
複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：×  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q068

2択

借方・貸方

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

- 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。
- 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。

答え・解説

正答：複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q069

4択

借方・貸方

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。
- B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- C. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- D. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。

答え・解説

正答：A. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

Q070

4択

借方・貸方

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。
- B. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。
- C. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- D. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

答え・解説

正答：A. 複式簿記では、すべての取引を文章だけで記録し、借方・貸方は存在しない。  
解説：簿記では、取引を二面的に記録することにより整合性を確認する。  
要点：簿記・基本

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q071

○ x

資産の増加

次の記述は正しいか。  
複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：○

解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。

要点：簿記・仕訳

Q072

○ x

資産の増加

次の記述は正しいか。  
複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：x

解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。

要点：簿記・仕訳

Q073

2択

資産の増加

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。
2. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。

答え・解説

正答：複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。

解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。

要点：簿記・仕訳

Q074

4択

資産の増加

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- D. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。

答え・解説

正答：A. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。

解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。

要点：簿記・仕訳

Q075

4択

資産の増加

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。
- B. 期日までに徴収できていない管理費等は、未収金として管理することがある。
- C. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。
- D. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。

答え・解説

正答：A. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。

解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。

要点：簿記・仕訳

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q076

○ x

資産の増加

基礎確認：次の説明は適切か。  
複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：○  
解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。  
要点：簿記・仕訳

Q077

○ x

資産の増加

基礎確認：次の説明は適切か。  
複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。

選択肢

- 
- x

答え・解説

正答：x  
解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。  
要点：簿記・仕訳

Q078

2択

資産の増加

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
2. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。

答え・解説

正答：複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。  
解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。  
要点：簿記・仕訳

Q079

4択

資産の増加

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 会計資料は作成後すぐすべて破棄する。
- B. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- C. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- D. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。

答え・解説

正答：B. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。  
解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。  
要点：簿記・仕訳

Q080

4択

資産の増加

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
- B. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。
- C. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。
- D. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。

答え・解説

正答：C. 複式簿記では、資産の増加は原則として貸方にだけ記入する。  
解説：借方・貸方の基本ルールとして、資産増加は借方、負債・収益増加は貸方が原則である。  
要点：簿記・仕訳

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q081

○ x

滞納管理費

次の記述は正しいか。  
管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：○

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。

要点：滞納管理・管理費請求

Q082

○ x

滞納管理費

次の記述は正しいか。  
管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

選択肢

○  
x

答え・解説

正答：x

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。

要点：滞納管理・管理費請求

Q083

2択

滞納管理費

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。  
2. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

答え・解説

正答：管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。

要点：滞納管理・管理費請求

Q084

4択

滞納管理費

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。  
B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。  
C. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。  
D. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。

答え・解説

正答：C. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。

要点：滞納管理・管理費請求

Q085

4択

滞納管理費

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。  
B. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。  
C. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。  
D. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。

答え・解説

正答：A. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。

要点：滞納管理・管理費請求

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q086

○ ×

滞納管理費

基礎確認：次の説明は適切か。  
管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。  
要点：滞納管理・管理費請求

Q087

○ ×

滞納管理費

基礎確認：次の説明は適切か。  
管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。  
要点：滞納管理・管理費請求

Q088

2択

滞納管理費

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。
2. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

答え・解説

正答：管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。  
要点：滞納管理・管理費請求

Q089

4択

滞納管理費

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- C. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- D. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

答え・解説

正答：D. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。  
要点：滞納管理・管理費請求

Q090

4択

滞納管理費

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 修繕工事などの請求を受け、まだ支払っていない金額は未払金として処理することがある。
- B. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。
- C. 複式簿記では、資産の増加は原則として借方に記入する。
- D. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

答え・解説

正答：D. 管理費等の滞納があっても、管理組合は一切請求できない。

解説：滞納は管理組合財政に影響するため、適切な督促と記録管理が必要である。  
要点：滞納管理・管理費請求

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q091

○ ×

証憑確認

次の記述は正しいか。  
支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：○

解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。

要点：会計管理・証憑

Q092

○ ×

証憑確認

次の記述は正しいか。  
支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。

選択肢

○  
×

答え・解説

正答：×

解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。

要点：会計管理・証憑

Q093

2択

証憑確認

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。
2. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

答え・解説

正答：支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。

要点：会計管理・証憑

Q094

4択

証憑確認

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。
- B. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- C. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。
- D. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。

答え・解説

正答：C. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。

要点：会計管理・証憑

Q095

4択

証憑確認

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 収支計算書は、一定期間の収入と支出の状況を示す。
- B. 管理費等の滞納がある場合、督促、遅延損害金、法的手続などを規約・決議・法令に従って検討する。
- C. 複式簿記では、取引を借方と貸方に分けて記録する。
- D. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。

答え・解説

正答：D. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。

解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。

要点：会計管理・証憑

科目：会計・出納・滞納管理 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q096

○ ×

証憑確認

基礎確認：次の説明は適切か。  
支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：○  
解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。  
要点：会計管理・証憑

Q097

○ ×

証憑確認

基礎確認：次の説明は適切か。  
支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。

選択肢

- 
- ×

答え・解説

正答：×  
解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。  
要点：会計管理・証憑

Q098

2択

証憑確認

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。
2. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。

答え・解説

正答：支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。  
解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。  
要点：会計管理・証憑

Q099

4択

証憑確認

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は管理会社の私物として処理する。
- B. 会計資料は作成後すぐにすべて破棄する。
- C. 借方・貸方は建物の左右の外壁名である。
- D. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。

答え・解説

正答：D. 支出を確認する際には、請求書、領収書、契約書、納品書などの証憑を確認することが重要である。  
解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。  
要点：会計管理・証憑

Q100

4択

証憑確認

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理組合名義の預金は、管理組合の資産として扱われる。
- B. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。
- C. 貸借対照表は、一定時点における管理組合の資産、負債、正味財産などの状態を示す。
- D. 翌期以降に対応する管理費等を先に受け取った場合、前受金として処理することがある。

答え・解説

正答：B. 支出は証憑が一切なくても、担当者の記憶だけで常に正確に処理できる。  
解説：証憑確認は、支出の実在性、金額、相手先、承認状況を確認する基礎である。  
要点：会計管理・証憑